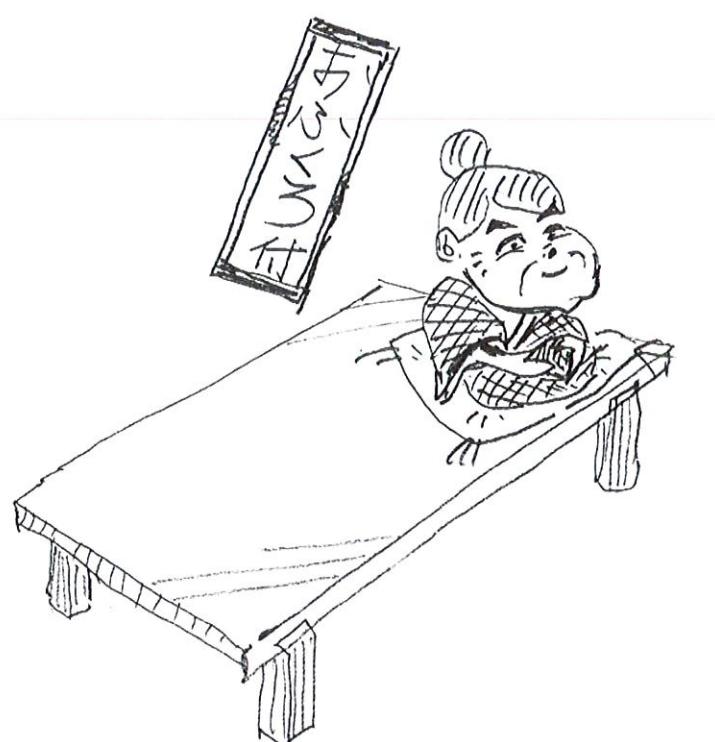


アートライフのある暮らし

コロナ禍以降、おうち時間がふえた方のためにリビングのテーブル周りで充実の時間が過ごせるスマートテーブル「L00ZER」(176,000円)をご紹介します。なんと冷蔵庫×スピーカー×ワイヤレス充電の3つの機能を1台でこなす画期的なテーブルです。家具とITを融合させた近代的なステンレス鋼のデザインで、食品や飲み物など席を立たずに取り出せる冷蔵庫容量135Lの2ドア冷蔵庫と、前面にデュアルスピーカーを搭載。スマートフォンの充電も卓上に置くだけでワイヤレス充電ができます。また、卓上のコントロールパネルでは冷蔵庫の温度やミュージックプレイヤーの操作がワンタッチ。さらに音楽のリズムに合わせて鮮やかに光るLEDライトや、側面にはコンセ



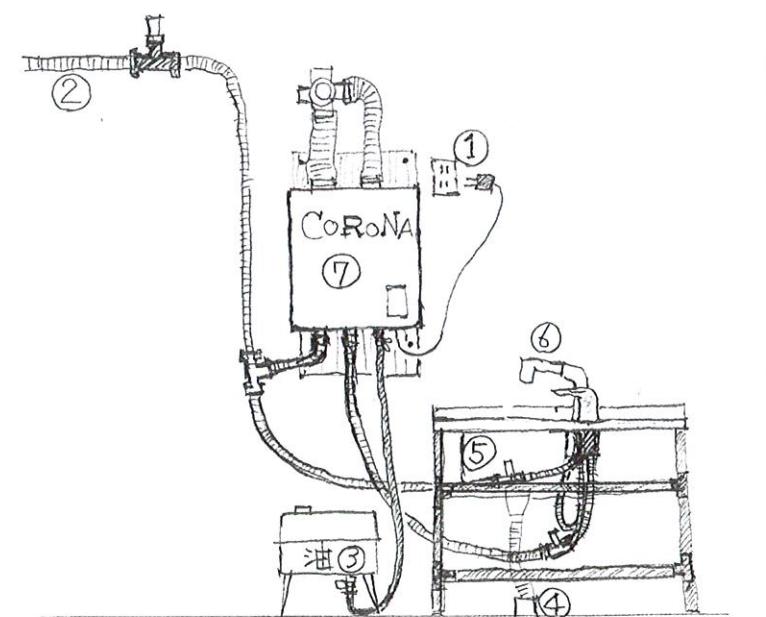
ントとUSBポートも搭載で至れり尽くせりのテーブルです。一度使ってみたいと思うが人間をダメにするかも？

[グラフィックデザイナー：D]

リフォーム小話

以前に給湯ボイラーの取付練習をするお話をしましたが、続報として事務所にボイラーを取り付けてみたお話です。まずは設計図の作成。何をするにも設計図が大事なので、つたない図面を作り秋本課長に手伝って（ほぼやって）もらいます。ボイラー取付に必要な要素 ①電気 ②水道 ③灯油タンク ④排水口 ⑤簡易流し ⑥蛇口 ⑦ボイラーセットは揃っているので残りの材料と部品はホームセンターにて調達しました。取付作業を進めて難しかったのは排気用の穴あけです。事務所の2階に取り付けるので外から梯子を掛けて穴あけ作業を行うことになります。地上6mほどの高所での作業なのでけっこう大変でした。やはり練習は必要です。

以上「ボイラー取付大作戦」のご報告でした。



〒007-0891
札幌市東区中沼西1条2丁目2-5
電話：011-792-4388
FAX：011-792-4377
E-mail: mail@kasashima.co.jp

カサシマ住宅

<http://www.kasashima.co.jp/>

道産
間伐材使用
間伐で未来につなぐ北の森

カラマツ通信

第37号
令和5年3月22日
発行元／カサシマ住宅



▲随所に古材を使用。大黒柱・梁・造作家具も見どころ！

発電&蓄電で電気代を削減する家

6/1より電気代が約35%も値上がりするそうです（北海道電力発表）。月々の電気代を安くするために発電&蓄電設備を備えた住まいを検討してはいかがでしょう。当社が建物の設計・施工を承った鶴サンエコ様の新ショールームでは、電気を創って、使って、ためる仕組みを実機で確認できます（3/31までは電気代削減相談会も実施中）。相談会の予約・およびショールーム見学＆個別相談は下記 鶴サンエコ様までお問合せください。



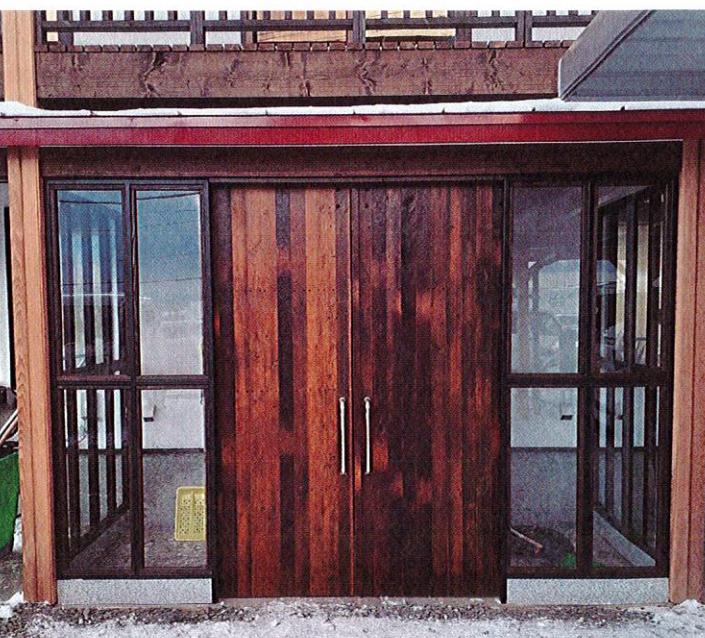
鶴サンエコ ショールーム
サンエコ・ラボ
北広島市大曲柏葉5丁目2-6
お問合せ／0120-385-215



▲電気自動車充電システム、ハイブリッド蓄電システム搭載

職人のこだわり～木製風除室～

今回は北広島丁邸の風除室をご紹介します。風除室というとアルミフレームにガラスの戸が付いたものを連想しがちですが、こちらの風除室の引き戸は木製です。吊金具は既製品を使用し、戸の部分はカサシマ工房で制作した完全オリジナルです。アルミフレームは軽量ですが華奢で冷たい感じがします。こういった重厚な雰囲気の風除室は良い味を出してくれます。北広島の幹線道路沿いにあるお家なので見かけたことがあるという人もいらっしゃるかもしれません。木の家にぴったり合うこちらのような風除室をご希望される方はお気軽にご相談ください。



サエキ

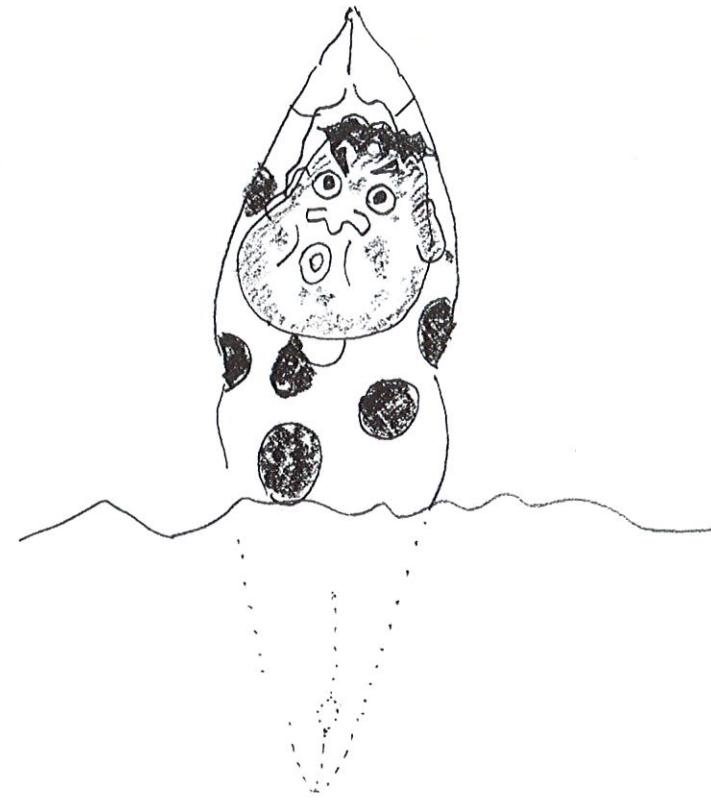
危険情報!

～「屋根の雪下ろしに注意」～

春の兆しがちらほらと見える今日この頃皆様はお元気でお過ごしでしょうか。

道内において、コンビニが雪の重さでつぶれたり、空き家が倒壊したりというニュースを目にしますが、屋根の雪下ろしには細心の注意が必要です。たとえ命綱をつけて作業をしていても、屋根から落下してそのままの状態で宙吊りになって亡くなの方もいらっしゃるようです。一番重要なことは一人では作業を行わないことです。宙吊りになってしまっても、落雪に巻き込まれても、一人で作業していては事故に気付いてもらえずお亡くなりになる方が結構いらっしゃいます。

そういう私も数年前、実家の一階の屋根から足を踏み外して、軒下の雪山に下半身



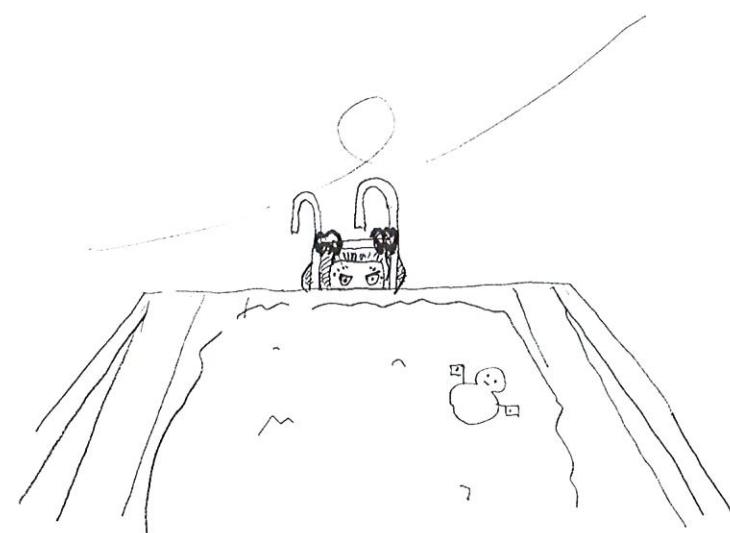
がすっぽり埋まってしまった経験があります。大事には至らず笑い話で済みましたがが一歩間違えれば大変なことだったなど肝を冷やしております。

アキモト



アフターレポート

今年の冬は、積雪は例年通りだったものの寒暖の差が激しい日が続き、零下15°C前後になったかと思えば、すぐ0°C近くまで上昇するということもありました。これによる影響で「2階天井から水漏れして1階天井の照明カバーに水が溜まっているので何とかしてほしい」と相談を受けました。早速現地で調査したところ、建物は無落雪（ダクト工法）屋根の縦樋が外部に落ちるタイプで、縦樋の内部が凍っていました（現代の北海道の家は縦樋が内部を通っていることがほとんどです）。気温が暖かくなると屋根の雪は急速に融けますが、樋の中の氷が溶けきらず水の流れが止まってしまったようです。応急処置として樋の中の氷を



碎き水漏れは止まりましたが、今後同じことを繰り返さないように電気を使ったダクトヒーターの設置をご提案しています。

パンパ

補助金情報

～「次世代省エネ建材の実証支援事業」～ (経産省)※予告

高性能断熱材や蓄熱・調湿材等の次世代省エネ建材を用いて住宅リノベーションを行う際に国の補助金制度を活用できます。

■補助対象者

- ①改修する住宅に常時居住する人
- ②賃貸住宅のオーナー

■補助対象工事／

補助額は補助対象経費の1/2（上限あり）

- ①外張り断熱…上限400万円/戸
- ②内張り断熱…上限200万円/戸
- ③窓断熱…上限150万円/戸

※②は集合住宅も適用可→上限125万円/戸

（補助対象経費の合計が40万円未満は対象外）

■受付期間／

令和4年度の公募はまだ開始されていません（令和4年の公募期間は4月初旬からでした）。公募の期間には限りがあるため、お早めに制度の利用を検討してください。

■補助金についての担当窓口

SII（一社）環境共創イニシアチブ

https://sii.or.jp/met_i_material04/

※公募開始のお知らせも同HP上で随時ご確認ください。

壁・窓・床・天井など断熱が足りないと感じている方は、断熱改修工事の際にこのような補助金を活用するとお得に暖かい住環境をかなえることができます。

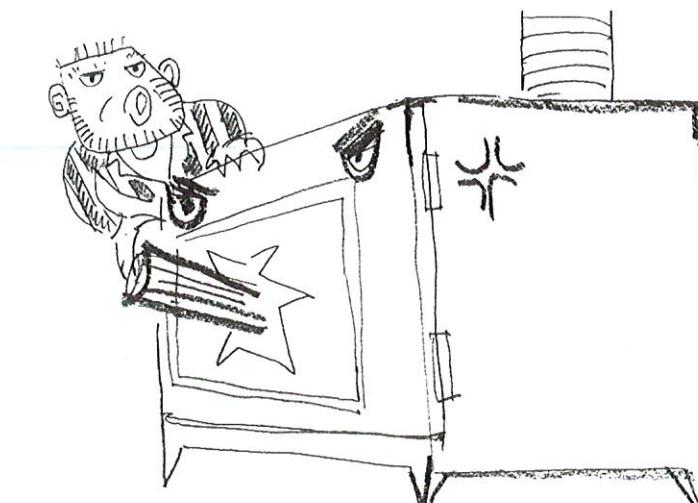
使用できる補助金は時期により異なりますので、改修を考えている方は当社までお気軽にご相談ください。



カサシマ

つれづれ日記

会社の向かいにあるコンテナハウス「ニ・ポンチセ」内には薪ストーブがあります。この薪ストーブはホームセンターに売っている小型のタイプ。当社の秋本さんが取り付けてくれて、薪を焚くと1時間ほどでコンテナハウス全体がポカポカと暖かくなり大変癒されておりました。しかし先日その薪ストーブにちょっと大きめの薪を入れて少々強引にフタを閉めたところ、なんとガラスが割れてしまいました（汗）ガラスの修理するにも高額な料金になりそうなので、ひとまず耐熱ボンドでガラスを取り付けて応急処置をしておくことにしています。今度からは横着せずに薪を無理なく入るサイズにしてから焚こうと思います…。ちなみに数年前にショールームにある薪ストーブのガラスを番場さんが同じ理由で割っていて、こちらは早急にガラス交換をしました。薪ストーブは暖かく癒されますが取り扱いには十分注意が必要ですね。



ハヤカワ